

令和6年12月27日

令和5年度飲食料品製造業特定技能測定試験実施状況報告書  
【飲食料品製造業分野】

農林水産省

1 試験実施概要

別紙のとおり

2 試験実施主体（外部機関に試験実施を委託している場合には、その委託先機関を含む。）

一般社団法人外国人食品産業技能評価機構（以下「OTAFF」という。）

なお、国外試験の実施は、プロメトリック株式会社（以下「プロメトリック社」という。）に委託。

3 試験問題作成体制

試験の問題作成に当たって、農林水産省は、食品衛生、日本語教育、作業安全等に係る有識者等からなる有識者委員会（以下「委員会」という。）を平成31年1月に設置した。

委員については、利害関係者を除き、食品衛生、日本語教育、作業安全等に係る有識者について6名選任している。

飲食料品製造業特定技能1号技能測定試験実施要領（以下「試験実施要領」という。）3から5で定める内容に基づき、農林水産省が作成した出題範囲案及び配点基準案並びに農林水産省が公募により選定した試験問題案を作成する民間委託事業者（OTAFF）が試験実施要領3から5で定める内容に基づき作成したものを、農林水産省が委員会に提出し、同委員会は試験問題案を確認の上、農林水産省に対し必要な助言を行った。

農林水産省は、同委員会の助言を受け、飲食料品製造業技能測定試験の出題範囲、配点基準、「飲食料品製造業特定技能1号技能測定試験問題」（以下「1号試験問題」という。）及び「飲食料品製造業特定技能2号技能測定試験問題」（以下「2号試験問題」という。）を策定した。

なお、1号試験問題及び2号試験問題は、ともに非公表とした。

4 試験申込方法（申込手順、定員数を超える受験希望者がいた場合の対応等）

国内試験においては、OTAFF のウェブサイトで、受験者の情報を入力するマイページ登録を行い、その後、同ページ上から試験申込を行う仕組みとしている。定員を超える申込みがあった場合は、抽選を行っているが、受験機会の公平な提供の観点から、抽選に漏れた回数が多い申込者が優先される仕組みとしている。

なお、令和元年度は定員の範囲内で先着順方式としていたが、会場によっては受付開始後すぐに定員に達する状況があったため、令和2年度から抽選方式としている。

国外試験においては、受験希望者がプロメトリック社のウェブサイトから申込みこととし、試験実施国内の試験会場の定員の範囲内で先着順により試験申込を受け付けた。

## 5 試験実施体制

農林水産省が提供した試験問題を用いて、飲食料品製造業分野の試験を実施した。

OTAFF は外部有識者で構成される試験管理委員会を設置し、採点結果、合否判定に公平性・公正性が確保されているかについて確認を受けるとともに、試験運営の改善に資するアドバイスを受ける体制を整備し運営した。

委員については、特定技能労働者の技能等の在り方に関する専門的で実務的な知識、技能若しくは学識経験を有する者、又は特定技能測定試験の運用その他の在り方に関する学識経験を有する者で特定技能測定試験の対象の業種の団体等の関係者でない者を OTAFF 理事長が5名選任している。

国内試験は、マークシート方式で行い、試験会場の設営、受付、試験中の監視の業務を経験と能力のある事業者に請け負わせ、OTAFF 職員が立会い、業務管理を行った。

国外試験は、CBT 方式（コンピューター・ベースド・テスト方式）で行い、アジア各国で CBT 試験を行っている国際的な専門事業者（プロメトリック社）に委託して試験を行った。

## 6 試験水準

1号試験は、我が国の飲食料品製造業における実務経験年数の合計が平均2年程度（1～3年程度）の者が、本試験に特化した学習用テキスト等を用いた準備を行わずに受験した場合に5割程度が合格する程度の水準とした。

2号試験は、自らの判断により高度に専門的・技術的な業務を遂行できる、又は監督者として業務を統括しつつ、熟練した技能で業務を遂行できる者の中で、工程を管理する実務経験を2年以上有する者が、本試験に特化した学習

用テキスト等を用いた準備を行わずに受験した場合に3割程度が合格する程度の水準とした。

7 合否の基準（合格基準点等）

学科試験及び実技試験の合計得点の65%以上を合格基準とした。

8 合否の通知方法

(1) 国内試験

試験終了後、3週間以内を目途にOTAFFのウェブサイト上の受験者マイページの「受験履歴」に合否結果を掲載するとともに登録されたメールアドレスに通知した。

(2) 国外試験

試験終了後、試験を実施したパソコン画面に試験結果を表示するとともに受験終了後5営業日以内に、プロメトリック社のウェブサイト上の受験者マイページに合否結果を掲載した。

9 試験結果の公表方法

(1) 国内試験

試験終了後、試験結果（受験者数、合格者数及び合格率等）及び合格者の受験番号をOTAFFのウェブサイト上で公表したほか、年度ごとの試験実施状況を取りまとめて、同ウェブサイトに掲載した。

(2) 国外試験

試験実施翌月に試験結果（受験者数、合格者数及び合格率等）をOTAFFのウェブサイト上で公表した。

10 合格証明書発行・交付手数料の有無及び方法（手数料を徴収している場合は、その額を含む。）

(1) 国内試験

受験者マイページに合格証書を表示するとともにダウンロードできるようにしている。

なお、合格証書発行のための手数料は受験料に含まれるため、徴収はしていない。

(2) 国外試験

プロメトリック社の受験者マイページに合格証書を表示し、受験者が印刷できるようにしている。

なお、国内試験同様発行手数料は受験料に含まれるため、徴収はしていな

い。

## 11 試験の適切な運用に向けた取組状況

### (1) 試験申込

ア 問題、不正行為等（以下「問題等」という。）を未然防止する取組（試験実施主体に対する指導監督の内容、実施状況等を含む。）の内容、実施状況等

試験案内に受験資格を記載した。また、試験案内に不正行為を例示するとともに、受験時に不正があった場合は、その試験を受けることを禁止し、試験の結果を取り消し、又は5年以内の期間を定めて、受験を受けることが出来なくなることがある旨を記載し、OTAFFのウェブサイトで公表している。

イ 問題等の内容及び対応

※問題等の疑義事案を含む。

※合格取消措置の有無（有る場合、件数及び各事案の具体的な内容を含む。）

特になし。

ウ 当該問題等を踏まえた改善策の内容、実施状況等

特になし。

エ その他参考となる事項

特になし。

### (2) 受験者の本人確認

ア 問題等を未然防止する取組（試験実施主体に対する指導監督の内容、実施状況等を含む。）の内容、実施状況等

国内試験においては、替え玉受験を防止するため、本人確認書類（在留カード又はパスポート）と受験者名簿（氏名、国籍、生年月日、在留カード又はパスポートの番号、受験者の申請時の顔写真を掲載）と本人の顔を突合し、本人確認ができた者のみ受け付けた。

国外試験においても、替え玉受験を防止するため、本人確認書類（試験を実施した各国内で通常用いられている顔写真付きの書類）と顔を受付で突合した後、本人の顔写真を試験当日に撮影し、それを合格証書の顔写真に用いることで、替え玉受験が出来ない仕組みとしている。

イ 問題等の内容及び対応

※問題等の疑義事案を含む。

※合格取消措置の有無（有る場合、件数及び各事案の具体的な内容を含む。）

特になし。

ウ 当該問題等を踏まえた改善策の内容、実施状況等

特になし。

エ その他参考となる事項

特になし。

### (3) 試験実施

ア 問題等を未然防止する取組（試験実施主体に対する指導監督の内容、実施状況等を含む。）の内容、実施状況等

国内試験において、試験会場ごとに、試験監督者を1名、監督補助員を受験生約30名に対して1名の割合で配置して、受験者の着席時に受験者と受験票（顔写真付き）で本人確認を行い、また、試験開始前にトイレに行った場合も再入室の際に受験票で本人確認を行った。さらにスマートフォンの電源を切らせ、腕時計を外して鞆に入れさせて椅子の下に置かせるなど、不正発生防止の対応を行った。さらに、試験中は、監督補助員等が試験会場内を巡回し、不正が行われぬか監視を行なった。

国外試験においても、試験室に入室前に、スマートフォン、腕時計も含め、所持品は全てロッカーに入れさせ、試験実施中は監視カメラで常時監視しつつ、監督員が室内を巡回し、不正が行われぬよう監視を行った。

イ 問題等の内容及び対応

※問題等の疑義事案を含む。

※合格取消措置の有無（有る場合、件数及び各事案の具体的な内容を含む。）

[電卓使用]

令和5年度第1回試験において、試験中に電卓を使用している受験者（1名）を巡回監視中の監督補助員が発見。当該試験会場の運営管理にあたっていた職員が確認の上、レッドカードを発出して試験会場を退出させ、採点対象外とした。

[同一の受験番号のマークシートが2枚発生]

令和5年度第2回試験において、回収したマークシートを読み取る段階で、同一の受験番号（受験者Aの受験番号）が記入されたマークシートを2枚発見し、受験した記録のある受験者Bの受験番号のマークシートがないことを確認した。調査した結果、受験者Bが自分のマークシートに受験者Aの受験番号を記入して提出したこと、AとBは知り合いであり、事前に共謀したことが判明。2名とも採点対象外とし、併せて、受験日から2年間の受験禁止とした。

ウ 当該問題等を踏まえた改善策の内容、実施状況等

[電卓使用]

引き続き、試験案内で電卓使用不可であることを明記し、試験当日の試験開始前の注意事項説明の中で、電卓使用不可であることを複数回アナウンスすることとした。また、不正行為を見逃さないよう、試験中の巡回監視を確実に実施するよう試験運営事業者に徹底した。

[同一の受験番号のマークシートが2枚発生]

マークシート回収時に受験票の受験番号とマークシートの受験番号を確認する業務工程を追加することとし、抜本的な改善策として、今後、配布するマークシートにあらかじめ座席番号、受験番号を印字するよう年間の作業工程を見直すこととした。

エ その他参考となる事項

特になし。

(4) 合格通知、合格発表、合格証明書交付・発行

ア 問題等を未然防止する取組（試験実施主体に対する指導監督の内容、実施状況等を含む。）の内容、実施状況等

令和3年度より国内試験の合格証書も、国外試験と同様に、郵送ではなく、受験者マイページに表示、ダウンロード可能な方式に変更している。また、在留資格認定証明書交付申請の際に出入国在留管理庁職員が添付された合格証書の真偽を確認できるシステムとした。

イ 問題等の内容及び対応

※問題等の疑義事案を含む。

※合格取消措置の有無（有る場合、件数及び各事案の具体的な内容を含む。）

特になし。

ウ 当該問題等を踏まえた改善策の内容、実施状況等

特になし。

エ その他参考となる事項

特になし。

(5) 上記(4)以降（例：試験実施後に合格証明書の偽造等の不正が発覚した事例等を想定）

ア 問題等を未然防止する取組（試験実施主体に対する指導監督の内容、実施状況等を含む。）の内容、実施状況等

在留資格認定証明書交付申請の際に出入国在留管理庁職員が添付された合格証書の真偽を確認できるシステムを運用するとともに、偽造等の不正の疑いがある場合、OTAFFへ照会できる体制を整備している。もし不正が明らかとなった場合は当該外国人の一定期間の受験禁止措置を講じ

る。

イ 問題等の内容及び対応

※問題等の疑義事案を含む。

※合格取消措置の有無（有る場合、件数及び各事案の具体的な内容を含む。）

特になし。

ウ 当該問題等を踏まえた改善策の内容、実施状況等

特になし。

エ その他参考となる事項

特になし。

12 事業年度途中に、試験問題や試験実施体制等について、大きな改善を行った場合は、その改善内容、改善の必要性

特になし。

13 海外における試験実施国・試験実施回数及び国内における地方都市での実施・試験実施回数の拡大に向けた取組内容や試験実施にあたっての今後の課題

令和5年度においては、業界団体のニーズ等を踏まえ、1号試験は昨年度同様、国外試験は2か国（フィリピン、インドネシア）、計9都市で実施し、国内試験は地方都市を含め19都市で計40回実施した。一方、2号試験は飲食料品製造業分野においては初の実施となり、国内5都市で計5回実施した。

海外における受験ニーズが高まっていることから、国外試験の実施月を増やす試み、並びにまだ試験実施に至っていない国においての実施に向けた検討を進める。

14 新型コロナウイルス感染症による試験実施への影響及びポストコロナを踏まえた試験実施の内容

(1) 試験申込段階（受験案内等での事前周知等）

受験者に対して OTAFF のウェブサイトの試験案内において、受付時の検温実施の可能性、発熱がある等体調不良の者については受験を断る事がある旨を周知した。

(2) 試験実施時（当日の試験会場における対応等）

席と席の間隔を空けることに加え、各試験ごとに机の消毒を行い、換気が行える会場では空気の入替えを行った。試験監督者等にも、手指消毒等の感染対策の実施を徹底させた。

- 15 その他、試験実施全般に関して生じた問題とそれに対する改善措置特になし。

## 【試験実施概要】

分野：飲食料品製造業分野

試験区分：飲食料品製造業特定技能1号技能測定試験

項番	試験実施場所		試験実施年月	合格発表日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	試験実施方法	試験実施言語	受験料
	国	都市								
1	フィリピン	セブ ダバオ マニラ	2023年5月	2023年6月12日	254	181	71.3%	学科試験 (CBT) 実技試験 (CBT)	日本語	1,700PHP
2	インドネシア	ジャカルタ ジョグジャカルタ スマラン スラバヤ デンパサール バンドン メダン	2023年5月	2023年6月12日	1,420	964	67.9%	学科試験 (CBT) 実技試験 (CBT)	日本語	450,000IDR
3	国内	北海道札幌市 宮城県仙台市 茨城県水戸市 埼玉県春日部市 東京都江東区 石川県金沢市 愛知県名古屋市 京都府京都市 大阪府大阪市 広島県広島市 福岡県福岡市 宮崎県宮崎市 沖縄県那覇市	2023年6月	2023年7月26日	9,056	5,998	66.2%	学科試験 実技試験	日本語	8,000円
4	フィリピン	セブ ダバオ マニラ	2023年7月	2023年8月10日	111	84	75.7%	学科試験 (CBT) 実技試験 (CBT)	日本語	1,700PHP
5	インドネシア	ジャカルタ ジョグジャカルタ スマラン スラバヤ デンパサール バンドン メダン	2023年7月	2023年8月10日	928	658	70.9%	学科試験 (CBT) 実技試験 (CBT)	日本語	450,000IDR
6	国内	香川県高松市	2023年7月	2023年7月26日	113	88	77.9%	学科試験 実技試験	日本語	8,000円

## 【試験実施概要】

分野：飲食料品製造業分野

試験区分：飲食料品製造業特定技能1号技能測定試験

項番	試験実施場所		試験実施年月	合格発表日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	試験実施方法	試験実施言語	受験料
	国	都市								
7	フィリピン	セブ ダバオ マニラ	2023年9月	2023年10月10日	357	289	81.0%	学科試験 (CBT) 実技試験 (CBT)	日本語	1,700PHP
8	インドネシア	ジャカルタ ジョグジャカルタ スマラン スラバヤ デンパサール バンドン メダン	2023年9月	2023年10月10日	1,602	1,129	70.5%	学科試験 (CBT) 実技試験 (CBT)	日本語	450,000IDR
9	国内	宮城県仙台市 東京都江東区 富山県富山市 大阪府大阪市 広島県広島市	2023年9月	2023年11月7日	4,007	2,522	62.9%	学科試験 実技試験	日本語	8,000円
10	国内	北海道札幌市 栃木県宇都宮市 埼玉県春日部市 愛知県名古屋市 京都府京都市 愛媛県松山市 福岡県福岡市 鹿児島県鹿児島市	2023年10月	2023年11月7日	5,167	3,166	61.3%	学科試験 実技試験	日本語	8,000円
11	フィリピン	セブ ダバオ マニラ	2023年11月	2023年12月11日	394	345	87.6%	学科試験 (CBT) 実技試験 (CBT)	日本語	1,700PHP
12	インドネシア	ジャカルタ ジョグジャカルタ スマラン スラバヤ デンパサール バンドン メダン	2023年11月	2023年12月11日	1,970	1,384	70.3%	学科試験 (CBT) 実技試験 (CBT)	日本語	450,000IDR
13	フィリピン	セブ ダバオ マニラ	2024年1月	2024年2月9日	736	657	89.3%	学科試験 (CBT) 実技試験 (CBT)	日本語	1,700PHP

## 【試験実施概要】

分野：飲食料品製造業分野

試験区分：飲食料品製造業特定技能1号技能測定試験

項番	試験実施場所		試験実施年月	合格発表日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	試験実施方法	試験実施言語	受験料
	国	都市								
14	インドネシア	ジャカルタ ジョグジャカルタ スマラン スラバヤ デンパサール バンドン メダン	2024年1月	2024年2月9日	2,655	1,848	69.6%	学科試験 (CBT) 実技試験 (CBT)	日本語	450,000IDR
15	国内	北海道札幌市 宮城県仙台市 茨城県水戸市 埼玉県春日部市 東京都江東区 愛知県名古屋市 大阪府大阪市 兵庫県神戸市 広島県広島市 香川県高松市 福岡県北九州市 宮崎県宮崎市 沖縄県那覇市	2024年1月	2024年2月2日	8,866	5,018	56.6%	学科試験 実技試験	日本語	8,000円
16	フィリピン	セブ ダバオ マニラ	2024年3月	2024年4月10日	1,066	971	91.1%	学科試験 (CBT) 実技試験 (CBT)	日本語	1,700PHP
17	インドネシア	ジャカルタ ジョグジャカルタ スマラン スラバヤ デンパサール バンドン メダン	2024年3月	2024年4月10日	794	559	70.4%	学科試験 (CBT) 実技試験 (CBT)	日本語	450,000IDR

## 【試験実施概要】

分野：飲食料品製造業分野

試験区分：飲食料品製造業特定技能2号技能測定試験

項番	試験実施場所		試験実施年月	合格発表日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	試験実施方法	試験実施言語	受験料
	国	都市								
1	国内	宮城県仙台市 東京都江東区 愛知県名古屋市 大阪府大阪市 福岡県福岡市	2024年3月	2024年4月12日	408	148	36.3%	学科試験 実技試験	日本語	8,000円